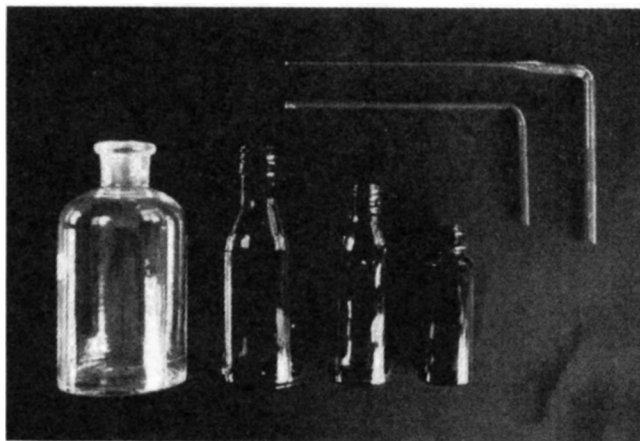


(1) 特 徴

- ① この簡易気圧変化測定器は、びんの容積を変えたり、L字型に曲げた細いガラス管の太さを変えることによって、気圧測定の感度を変えることができる。



- ② あらかじめ、一般の気圧計による測定値に合わせて、L字型に曲げた細いガラス管に、気圧の目盛を付けることによって、気圧の値を測定することができる。
- ③ 市販の気圧計は高価なものが多く、台数を多くそろえることが難しいが、この簡易気圧変化測定器は、材料費が非常に安いので、授業などでは、生徒全員分を準備し、生徒一人一人に気圧の変化を観測させることができる。
- ④ 分解、組み立ても容易で、携帯性を備えている。

(2) 留 意 点

- ① 短時間での観測なら、ガラスびんの中の空気の、温度変化による体積の変化を考慮しなくてもよい。
その際、ガラスびんを直接手で触って暖めないようにする。

- ② 正確に気圧の変化を観測する場合は、ガラスびんの中の空気の温度を一定に保つ必要がある。

例えば、右の写真のように、氷水を使って、ガラスびんの中の空気の温度を 0°C に維持するとよい。

